

全社委(全国社会的課題委員会)では、大学生協としての社会的課題への向き合い方を検討し、各会員生協やブロックでの取り組みを集約・分析・普及しています。

わたしの#ちよつきに

今回の担当は驛田彬仁さん(全国社会的課題委員会)です！
みんなも #ちよつきに でSNS発信しよう！



驛田彬仁(エッキー)
東京農業大学4年

ちよつきに

日常生活の中でちよっと気になるけど自分で調べるほどではないなあということを調べてみたら社会とつながっていたことを知らせたい！

回収までしないと意味がない！？ 「エコストーリー」

○ニュースの概要

海洋マイクロプラスチックごみの軽減のために紙や竹のストローがあるが4Natureではサトウキビの絞りかすを原料にしたエコストーリーを製造・販売を行っている。
また売ることだけでなく回収して堆肥化して再利用するところまでを見据えて取り組んでいる。
サトウキビストローは生分解性なので土に還るといった特徴だが、ごみとして焼却処理されてしまうとわざわざ使う意味が半減してしまう。回収事業は必然だった。
ゆくゆくは回収事業を通して「コミュニティづくり」を行い、街づくりに携われるようになりたい。

○このニュースを取り上げた理由

天然資源を活用したストローは今まで様々な場面で取り上げられてきた。しかし「回収しないと意味がない」ということはあまりみんなの中で周知されていないんじゃないかと思ったので今回取り上げました。

このニュースの引用元は
<https://sdgs.yahoo.co.jp/originals/89.html>
※元の二次元バーコードからも読み取れます。



○みんなで作りたいポイント

- ✓ どんな風にも回収することができるだろうか？
- ✓ コミュニティづくりに関連させるためには？



○ちよっときになってみんなに知らせたいこと

よく「エコストーリー」って言われると製造方法や素材のことにフォーカスされることが多いと思いますがその後の回収や再利用まで考えていないと意味がなくなってしまうことを知ってほしい！

また今回は展望で終わっていましたがエコストーリーの回収を通して「コミュニティづくり」や「街づくりに」を行うことができると考えていることに驚きました！
大学生協ではリパックの回収とかを行っていると思いますが同じような考え方をできるのではないかとおもいました。

つながる元氣、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

STEP1

会員生協での取り組むためのヒントをご紹介します！

6月は環境月間

6/5は環境の日



中川雄貴(イヴァンカ)
全国学生委員会

6月5日は環境の日！これは、昭和47年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」(平成5年)が「環境の日」を定めています。

環境省HPより引用
<https://www.env.go.jp/gui/de/envdm/month/>

環境に向けた取り組みって どう進めればいいのか？

【Step1】環境問題について調べてみよう！

私たち組合員の生活に関連する環境問題はどのようなものがあるのでしょうか。社会では環境への対策は何が行われているのでしょうか。まずは世界や社会の現状をみるのが大切です！

【Step2】自大学生協で行っている環境活動に目を向けてみよう！

大学生協で行っている環境活動に目をむけ、組合員へ情報を届けましょう。なぜ行っているのか、行うことでどうなるのか伝え、活動の輪を広げていきましょう。

【Step3】自大学生協・ブロックでどんな環境活動ができるか話し合ってみよう

他大学の学生と一緒に活動について議論したり、活動について学び合い・励まし合いをしていきたいと思います。そうすることで大学生協が行う環境への取り組みがもっと盛り上げるはず！

あくていぶ
千原大学生協
プラスチックストロー削減プロジェクト
取組の進展
SDGsに環境に関心を持つ学生を
大学生協が応援した取り組み！

全社委からのお知らせ

平和について考える学習会#2

今起きている問題について、大学生らしく正しく学び、ディスカッションをする中で今何を考えるどのような行動をするべきなのかを考える学習会です！第2回の今回はユニセフ協会の方を講師として招き、**ユニセフが目指していることと今実際に何が起きているのか**を学び、自分たちでできることを考えます！途中参加、途中退出も大歓迎なのでなたでもご参加お待ちしております！
https://www.univcoop.or.jp/staffroom/news/news_detail_606.html

平和について考える学習会#2
-ユニセフと人道支援について-
2022.6.18(土) 13:00-16:00
講師: 宇野 浩二(ユニセフ)
【開催方法】Zoom参加無料
【参加費】無料
【参加方法】Zoom参加無料
【参加費】無料
【参加方法】Zoom参加無料
【参加費】無料
【参加方法】Zoom参加無料
【参加費】無料

社会的課題通信

全国院生委員会では、学生・院生組合員の社会的課題への関心を高めることを目的に、社会的課題通信を発信しています。Web上で誰でも自由に閲覧できるので、ぜひご覧ください！
社会的課題通信(全国大学生協連HP):
<https://www.univcoop.or.jp/activity/wamaster/social/index.html>

読者アンケートへご協力ください！

<https://forms.office.com/r/prnm129bel>

今月のコラム



朴 恵淑(パク ケイシュク; Hyesook PARK)
三重大学特命副学長(環境・SDGs)
WHOアジア太平洋環境保健センター(WHOACE)所長
大学生協全国教職員委員会委員

環境・SDGs・カーボンニュートラル社会の50年を考える

50年前の1972年6月5日、環境問題について世界で初めての政府間会合となる「国連人間環境会議」がストックホルムで開催され、6月5日が環境の日となりました。1992年6月の「地球サミット」の開催、2015年9月のSDGs(持続可能な開発目標)の採択、2050年のカーボンニュートラル社会に向けた国際的取組が本格的に行われる時代となりました。
日本においても高度経済成長を支える一方、四大公害(水俣病・イタイイタイ病・四日市ぜんそく・新潟水俣病)によって人間を含む生態系へ甚大な被害を受け、2022年7月は「四日市公害訴訟判決50周年」となります。
環境と経済の調和の取れた持続可能な社会・カーボンニュートラル社会創生に向けて、「過去の負の遺産を未来への正の資産」にかえるため、私たちは何をすべきかを真剣に考え、行動する時期に来ています。

発行日
2022年6月1日
発行機関
全国社会的課題委員会

編集長
尾崎志奈(全国学生委員会)
お問い合わせ先
nfuca-gakusei@univ.coop
全国学生委員会・尾崎まで